



目次 contents

- P1 ■ 令和7年度県民の日記念式典
第57回シラコバト賞
- P2・P3
■ 市町村コミュニティ協議会の
取組
■ 支援型自動販売機
- P4 ■ 会員紹介

令和7年度 県民の日記念式典

11月14日(金)に埼玉会館で「令和7年度 県民の日記念式典」を開催しました。式典では、彩の国コミュニティ協議会主催のシラコバト賞の表彰が行われ、受賞者の代表に当協議会会長 大野 元裕 埼玉県知事から賞状、副賞が授与されました。他にも、埼玉県表彰規則による知事表彰や小中学生の作文コンクールの表彰も行われました。

第57回 シラコバト賞

日頃、身近なところで、住みよい地域社会の実現のために、多くの方が積極的な活動を続けています。そうした活動を行う個人及び団体へシラコバト賞を贈呈し、その活動と功績を顕彰しています。

令和7年度の受賞者は、個人147、団体40の187件でした。



登壇していただいた受賞者・団体を御紹介します

心のふれあいを深める活動

田原 みよ 氏 (和光市)

長年にわたり和光市婦人会に所属し、地域のお祭りや盆踊りなどに協力し、地域住民の心のふれあいを深めることに貢献しています。



埼玉県マスコット「コバトン」

健やかな心身を育てる活動

我妻 清美 氏 (本庄市)

食生活改善推進員協議会に所属し、市民向け講座の開催や高齢者向けレシピの提供などの活動を通じて地域の健康増進に寄与しています。



住みよいふるさとをつくる活動

特定非営利活動法人 一二三富の会 (坂戸市)

公園などの低木剪定や花苗の植栽など環境維持に努めるほか、私有地林を整備し市民緑地に認定されるなど地域の緑化に貢献しています。



郷土を知り、郷土を想う活動

小鹿野子ども歌舞伎 (小鹿野町)

伝統文化である歌舞伎の継承を目的に、小中学生に稽古し、郷土芸能祭で披露することで、小鹿野歌舞伎の振興に貢献しています。



シラコバト賞の募集に関する情報を彩の国コミュニティ協議会ホームページに6月頃掲載します。受賞対象者や対象となる活動についても記載しますので、皆様のまわりの方をぜひ御推薦ください。





市町村コミュニティ協議会の取組

彩の国コミュニティ協議会では、市町村協議会が行う事業に対して助成をしています。助成事業について、一部御紹介します。

三芳町民地域交流事業～歌で広がる地域の輪～(三芳町区長会)

三芳町区長会は、安全で安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指し、地域コミュニティを促進するために活動しています。そして今回、三芳町が町制施行55周年を迎えることを記念して、令和7年11月3日に「三芳町町制施行55周年記念 三芳町民地域交流事業 ～歌で広がる地域の輪～」と題したイベントを開催しました。

当日は、出場者と観覧者あわせて213名の参加となり、出場者43組の熱唱による優勝争いが行われました。出場者には町内各地域の老若男女があつまり、まさに地域と年齢の枠を超えた交流事業となりました。また、参加者にはイベント当日の受付窓口や会場内で行政連絡区・自治会の加入呼びかけも行い、地域交流の「きっかけ」づくりをしました。

今後もこのようなイベントや事業を通して、コミュニティ活動の推進に取り組んでいきます。



▲三芳町民地域交流事業の様子

春日部藤まつり(春日部市コミュニティ推進協議会)

春日部市コミュニティ推進協議会は、市内で活動している様々なコミュニティ団体が、連携・協力しながらコミュニティづくりを推進する組織で、39団体(令和7年7月現在)が加入しています。

令和7年4月には、「春日部藤まつり」を開催しました。当日は約11万5千人が来場し、ふじ通り沿いには各団体による多彩な出店が並びました。会場では流し踊りや和太鼓、キッズダンス、よさこい・ソーランなどの催しが行われ、世代を超えた交流の場となりました。多くの皆さまのご理解とご協力により、盛況のうちに開催することができました。

これからも、ゆとりとうるおいのある住みよい地域社会をつくることを目的に、コミュニティの輪を広げる様々な事業を展開していきます。



▲春日部藤まつりの様子

マスのつかみ取り大会(越生町コミュニティ協議会)

越生町コミュニティ協議会は、住民が主体的かつ自主的に新しい時代にふさわしい、心のふれあう住みよい地域社会を築くことを目的に活動しています。

毎年8月上旬には、地域の清掃活動の一環として、多くの地域住民が参加し、力を合わせ、町全体で河川清掃活動を実施しています。さらに、8月中旬には、きれいになった河川で自然を大切にすることを育むために、1984年から毎年開催している「マスのつかみ取り大会」を町の漁業協同組合の協力を得て行っています。

当日は、網で囲ったいけすに約300匹のマスを放ち、町内の小学生約60名が水しぶきを上げながら素手でマスを追いかけて、「捕れた!」という歓声が響きました。このような体験を通じて子どもたちは自然との触れ合いを楽しむことができました。

今後もこのようなイベントや事業を通じてコミュニティ活動の推進に取り組んでまいります。



▲マスのつかみ取り大会の様子

羽生市防災講演会(羽生市コミュニティ協議会)

羽生市コミュニティ協議会は、コミュニティづくりを広く市民運動として推進することを目的としています。

活動の一つとして、防災に関する理解を深めるため、羽生市との共催で「防災講演会」を1月23日(金)に開催しました。

「近年の豪雨災害」をテーマに2部制で行い、第1部は熊谷地方気象台防災管理官加茂直幸氏、第2部は越谷市危機管理室調整幹北林大樹氏にご講演いただきました。

近年の豪雨の特徴や気象予報の進歩、越谷市の事例などから「天災は忘れたころにやってくる」ことを痛感し、日頃から災害の情報を収集したり、備えたりすることが重要だと改めて認識しました。

地域防災力の強化を図るためには、コミュニティの力が欠かせません。今後も、講演を通じて防災に関する意識を高めていくことで、安心・安全なまちづくりを推進してまいります。



▲防災講演会の様子

特集 コミュニティ活動支援型自動販売機を設置しませんか？

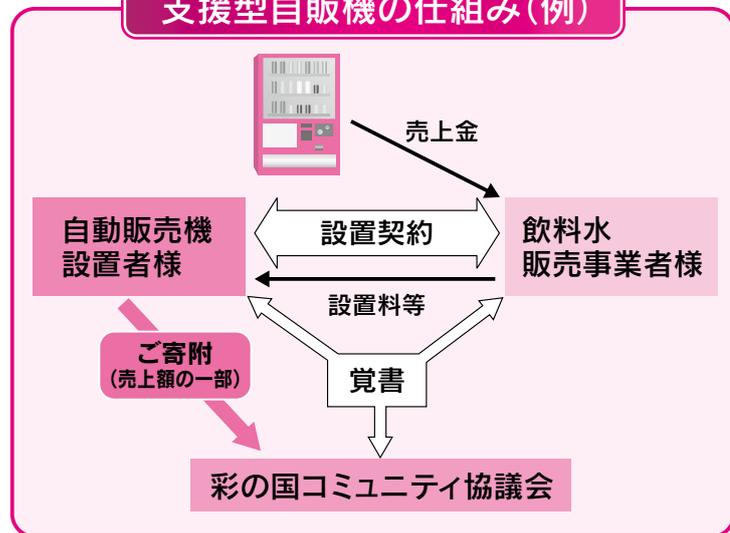
彩の国コミュニティ協議会では、会員事業者をはじめとする施設管理者に「コミュニティ活動支援型自動販売機」の設置をお願いしております。

支援型自販機とは、自販機による売上金や販売手数料の一部を当協議会にご寄付いただくものです。

寄付金は、当協議会から市町村コミュニティ協議会に助成金として交付され、各地域のコミュニティ活動を推進する事業に用いられます。

会員事業者様も、そうでない方も、「協力できるかも」「話を聞きたい」という方は、協議会事務局までお気軽にご連絡ください。

支援型自販機の仕組み(例)



ラッピングの例



1台ずつ設置いただいています。現在ご協力いただいている皆様も、台数を増やしたい場合はご相談ください！

現在設置されている施設	設置・寄附者様
埼玉県県民活動総合センター	(公財)いきいき埼玉 様
ふじみ野市立市民交流プラザ「フクトピア」	毎日興業(株) 様
武蔵野銀行(桜木町ビル)	(株)武蔵野銀行 様
埼玉県西部地域振興ふれあい拠点「ウェスタ川越」	指定管理者 NeCST様
大宮第二公園	(公財)埼玉県公園緑地協会 様 コカ・コーラボトラーズジャパン(株) 様
埼玉県障害者交流センター	(社福)埼玉県社会福祉事業団 様 コカ・コーラボトラーズジャパン(株) 様



株式会社テレビ埼玉

テレビ埼玉は1979年、埼玉県全域を放送対象地域とする県域放送局として開局しました。

2006年4月には愛称を「テレ玉」とし、「あなたにカンケイあるテレビ」をタグラインに、地域に根ざした放送を行っています。

地域の生活情報を伝える「情報番組マチコミ」をはじめ、県内のプロスポーツや高校スポーツの中継、全国に多くのファンを持つバラエティ番組「いろはに千鳥」など、幅広い番組を制作しています。

毎年元日に放送している「埼玉政財界人チャリティ歌謡祭」は今年で34回目を迎え、番組を通して県内の文化振興のために送った寄付額は3500万円に上っています。

このほか、SDGsに対する埼玉県民の関心を高めるための「テレ玉SDGsウィーク」の放送や、「彩の国埼玉環境大賞」の共催など、社会貢献活動にも力を入れています。

今後もテレ玉は、県民の皆さんにとって“カンケイある”地域密着メディアを目指してまいります。



▲埼玉政財界人チャリティ歌謡祭



一般社団法人埼玉県歯科医師会

埼玉県歯科医師会は、昭和22年に社団法人として設立し、平成25年には一般社団法人となりました。

約2,600名の会員が、日々の診療や学術研鑽に加え、妊産婦から高齢者に至るまでの生涯を通じた各種歯科健診、県内各地のイベント等での歯科相談などの普及啓発活動、また「8020」よい歯のコンクールや、児童生徒を対象とした歯・口の健康に関する図画・ポスターや標語コンクールの実施など、県民の歯・口の健康維持・向上と普及啓発に繋がる活動を行っています。

さらに災害時の歯科保健医療支援や、身元確認等警察捜査にも協力しています。

今後もこれらの活動を通じて、引き続き県内の歯科保健医療の向上に寄与してまいります。



▲図画ポスターコンクール審査会



▲身元確認訓練

埼玉県中学校体育連盟

埼玉県中学校体育連盟（県中体連）は昭和23年4月に結成され、今年度で創立77年を迎えました。「競技部」と「研究部」の両輪で活動しております。

競技部については、現在21専門部で活動しており、専門部毎に実施している各種講習会や強化練習会等の成果として、毎年、関東中学校体育大会、全国中学校体育大会に出場し優秀な成績を残しております。今年度は8月に開催された全国中学校体育大会において、3競技で団体優勝、5競技10種目で個人優勝という素晴らしい成績を残すことができました。

研究部については、毎年、中学校体育授業研究会を実施し、今年度は第50回中学校体育授業研究会が県内10校で行われ、埼玉県が掲げている「運動好きな生徒の育成」と保健体育科教員の「授業力の向上」に本授業研究会を通して取り組むことができました。

今後も埼玉県の中学生在がスポーツや体育授業を通して、たくさんの笑顔が見られるように尽力してまいります。

(バドミントン)



(水泳競技)



▲全国中学校体育大会